

女性部通信



ノーベル賞で話題になった青色LEDのイルミネーションが街で輝き、今年もいよいよ終わりが近づいてきました。皆さんにとって今年はどうな一年だったのでしょうか？

女性部通信第3号では、11月に開催された「県母と女性教職員の会」や「義務教育課事務レベル折衝」、各支部女性部での学習会や講習会の報告を中心にお知らせします。今年度の様々な活動やとりくみについて、ご要望やご意見がありましたら、いつでもお声をお寄せ下さい。

県教組 吉田 TEL 0776-23-1887

各支部からの活動報告



三方支部

【学習会&食事会】

8月25日(月) 24名参加



「県女性部学習会」・「母と女性教職員の会全国集会」の報告と研修の後、食事会も行いました。イタリアンに舌鼓をうちながら、時間も忘れて、日頃の教育活動について熱く語り合いました。

三方支部は41名の女性組合員という県内で一番少ない部員数ですが、毎年盛り上がる学習会になっています。次年度は小学校が再編(7校が3校に)されるので、「このつながりがどうなってしまうのか、不安です。」という声も聞かれました。



県や全国の報告を聞き、活躍されているお母さん方や先生方から力をもらった気持ちがしました。

冬休みに行われる講習会(文化活動)にも参加したくなりました。



大飯支部

【ポーセラーツづくり】

8月4日(月) 21名参加



青年部と合同で学習会を行いました。ポーセラーツは、白いマグカップやタンブラーにシール感覚で使える転写紙を貼り、オリジナル作品を作るものです。はじめは戸惑われていた方も作業を進めるうちに、どんどん集中して制作されていました。最後には作品を見せ合い、交流を深めていました。



どのようにするのかわからず不安でしたが、やってみるととても楽しく、取り組みやすかったです。皆さんとお話しながら作業すると、自然と心打ち解けられたような気がしました。



世の中に一つだけの自分のタンブラーを作ろう！と、何だか楽しい気分で、創作意欲もわき、集中して取り組むことができました。いいストレス発散になりました。

坂井支部

【アロマの時間～心と身体ストレスリリース～】

8月1日（金） 37名参加

セレネホリスティックセラピーカレッジ主宰の金田睦美先生を講師に「アロマの歴史や精油の効果」の講義と「エッセンシャルオイルの香りマッサージ」と「ペアでのマッサージ実習」の演習を行いました。講師の先生の温かい雰囲気と心地よいアロマの香りの中で行われた学習会となりました。その日の気分や身体の調子を見て、どんなエッセンシャルオイルを使うと良いのか、どのような身体への取り入れ方をすれば良いかなど、具体的に教えて頂き、なごやかな雰囲気の中でエッセンシャルオイルの効能を実感できる学習会でした。

とても癒やされた時間となりました。家に帰ってからも、ぜひアロマを取り入れたいと思いました。セルフマッサージだけでなく、ペアでのマッサージをしながら、場がなごみ、楽しく演習できました。



- ・吉田支部 12月24日（水）フラワーアレンジメント講習会
- ・福井支部 12月24日（水）プリザーブドフラワー講習会
- ・大野支部 12月25日（木）フラワーアレンジメント講習会
- ・勝山支部 12月26日（金）フラワーアレンジメント講習会
- ・小浜支部 12月25日（木）アロマセラピー講習会
- ・三方支部 12月26日（金）プリザーブドフラワー講習会



どの支部も、参加して楽しいものを企画されています。みなさん、ふるってご参加ください！

県母と女性教職員の会



11月8日（土）第64次教育研究福井県集会の第12分科会として、勝山市南部中学校で行われました。保護者と女性教職員50名の参加がありました。今年度は三方上中支部・鯖江支部・丹生支部・大野支部の4支部の提案発表を行い、その内容は

- ・「ふるさとを愛し、誇りに思う子どもを育むために」熊川小学校 小西晶絵教諭
- ・「地域とのつながりを通して」中央中学校 高澤ひとみ教諭
- ・「はぎのツ子 元気アップ週間のとりくみ」萩野小学校 大橋尚子教諭
- ・「すこやか尚徳っ子～保護者との連携を通して～」富田小学校 今村明子教諭

でした。どの発表内容も地域との連携を工夫したもので、福井県における「学校・地域・家庭」のつながり力の高さがうかがえるものでした。参加者は、提案発表内容と関連づけながら、自分の校区での取り組みや課題等について意見交流しました。どのテーブルも連携における様々な課題、地域における課題等、活発な話し合いがなされていました。母親と女性教職員が同じテーブルで話し合うことで、母女の基本理念に即した活動となりました。



義務教育課事務レベル折衝

11月27日（木）教育センターにて、県義務教育課事務レベル折衝が行われました。義務教育課からは岩本義務教育課参事と田中義務教育課GLが来られました。女性部からは、各支部女性部長14名と吉田県女性部長と野阪書記が参加しました。



女性部からは、各分会のコーヒータイムで出された意見をもとに、要求項目を作成し、要請・意見交換をしました。私たち女性教職員の心身の負担、ワークライフバランスの大変さや様々な権利を行使する難しさを伝え、女性が定年退職まで生き生きと働く教育条件整備に向けての折衝を行いました。県教委からは、講師不足や教育予算の厳しさ等、福井県の教育界における状況も聞くことができました。「不妊治療・生理休暇・更年期障害を含めた特別休暇（仮称：健康支援休暇）」については条例改正が必要なので、今後県職員組合とも連携して運動につなげたいと考えています。

		要 求 項 目	担 当
休暇 休業	1	産休・育休者が安心して休めるための代替教職員の確保（教科、専門職等）・人材バンク作成	大野支部 兼井
	2	病休者や介護休暇等の予測できない休職者のために正規職員の病休代職員の確保	大飯支部 大野

	3	子の看護休暇の対象を拡大し、家族の看護休暇にすること。短期介護休暇の期間延長（5日→10日）をし、取得要件を緩和すること	三方上中支部 渡邊
	4	生理休暇の特別休暇をプライバシー保護の観点から「健康休暇」に変更し、生理痛・更年期障害・不妊治療等女性特有の病気に対応した権利への拡充	越前支部 増永
	5	少子化対策から子の看護休暇の日数を延長・対象者の拡大をし、子育てとの両立を推進すること	小浜支部 大野木 吉田支部三上
	6	育児短時間勤務の権利を行使しやすいように、「代替者との時間の重なりを学校裁量」とし、教職員を1名増配置すること	鯖江支部 山田
多忙 解消	7	女性がワークライフバランスをとりながら働けるように、多忙化解消策を県が明示すること。また、県の施策を学校で取捨選択できるようにスクラップ&ビルドをすること	敦賀支部上塚 丹生支部眞田
働き やすい環 境づく り	8	育児や介護等に関わる女性教職員に配慮した人事異動を行い、遠距離通勤にならないようにすること	南条支部佐治 勝山支部西川
	9	男女共同参画社会推進に向けて女性の職域を広げ、校務分掌の不均衡さをなくすと共に、管理職登用にに向けた環境や条件を整備すること	三方支部 久崎

今後の女性部の予定（12月～3月）

- 1月** 県教組新春のつどい
- 2月** 教育長と語る会（各専門部と合同で）・第4回 女性部長会
- 3月** 国際女性デー（連合女性委員会）・県教組定期大会

この秋、元同僚の女性が結婚した。私にとって久しぶりの結婚式参列であり、同僚の結婚式に招かれるのも初めてで、とてもわくわくしていた。そして「良き人に出会い、ぜひ結婚して欲しい。」と願っていた彼女だけにうれしさもひとしおだった。彼女の輝くばかりに美しい花嫁姿と優しさや誠実さがにじみ出たパートナーの格好良さに、私の興奮は高まるばかり。温かい幸せな気持ちでいっぱいになった。そんな私をさらに感動させたのは、神殿前での担任クラスの子もたちや教え子たちの姿。神妙な顔で結婚式を食い入るように見る姿や花嫁姿の先生と写真に写る子どもたちのキラキラした晴れやかな顔。とてもとても感動した。この日のことは、きっと子どもたちの心にずっと残るに違いない。教科書では教えられることを彼女は子どもたちに教えたのだ。教師として、人生の先輩として。

女性の生き方は多様化している。幸せ感も人様々である。でも、あえて私は伝えたい。「女性の教職員の方、ぜひ結婚をして欲しい。」そしてできるなら「子育ても経験して欲しい。」と。‘妻として’、‘母親として’、‘嫁として’・・・人としてのフィルターをいくつも持つことは、人生を豊かにすると思うから。